

## Ⅱ. 令和元年度予定工事等

### <内容>

1. 令和元年度予定工事等	1
2. 令和元年度以降の全体スケジュール	6
3. 流砂系一貫の総合土砂管理の取り組み状況	8

国土交通省・宮崎県  
令和元年10月18日

# 1. 令和元年度予定工事等

## 直近の予定工事一覧

対策工		計画量	H30年度まで 上段: 施工量 下段: 進捗率		R01年度	R02年度
養浜	急激な侵食への対応及び 砂浜等土砂の回復	280万m <sup>3</sup>	130.6万m <sup>3</sup>	130.6万m <sup>3</sup> (47%)	約22万m <sup>3</sup>	実施予定
	突堤周辺の早期の砂浜形成		—		約4.5万m <sup>3</sup>	実施予定
	サンドバイパスの試験施工		—		約0.5万m <sup>3</sup>	実施予定
埋設 護岸	動物園東	1100m	1100m完成済み (100%)			
	大炊田	1600m	1600m完成済み (100%)			
突堤	突堤	300m	75m (25%)		実施しない 予定	状況によっ ては実施
	補助突堤①	150m	50m (33%)		実施しない 予定	状況によっ ては実施
	補助突堤②	50m	50m完成済み (100%)			

※1：計画量は、第Ⅰ期～第Ⅲ期までの全体計画量であり、砂浜の回復状況等を踏まえて見直すことがある

※2：新設・延伸の予定であり、災害復旧、補修等は別途、適宜実施する場合がある

R01年度以降は、現時点での見込み・想定であり、決定事項ではない

砂浜の回復具合、予算、土砂の調達状況、関係者との調整状況等を踏まえて決定していく

※3：埋設護岸(大炊田)について、KDDIタワー前面の20m程度区間は袋詰玉石で仮設施工済み

# (1) 養浜

関係機関との連携(河川の3か年緊急対策掘削土砂の受入等)により、約27万m<sup>3</sup>の養浜を実施予定

材 料	場 所	養浜量	主な目的	連携	
サンビーチ南浚渫土砂	大炊田(陸上)	約0.9万m <sup>3</sup>	○急激な侵食に対する砂浜の回復 ※一部「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による掘削土砂から受入	県港湾	
三財川掘削土砂	石崎浜(陸上)	約0.3万m <sup>3</sup>		県河川	
サンビーチ南浚渫土砂		約0.7万m <sup>3</sup>		県港湾	
小丸川掘削土砂		約0.1万m <sup>3</sup>		国河川	
サンビーチ南浚渫土砂		約1.4万m <sup>3</sup>		県港湾	
小丸川掘削土砂	動物園東(陸上)	約0.7万m <sup>3</sup>		国河川	
		約0.3万m <sup>3</sup>			
大淀川掘削土砂		約1.2万m <sup>3</sup>			
緑松ストック	補助突堤②北(陸上)	約1.5万m <sup>3</sup>		○突堤周辺の早期砂浜形成 ※一部「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による掘削土砂から受入	国河川
大淀川掘削土砂		約0.8万m <sup>3</sup>			
小丸川掘削土砂		約0.2万m <sup>3</sup>			
本庄川掘削土砂		約1.9万m <sup>3</sup>			
小計①		約10万m <sup>3</sup>			
三財川掘削土砂	ニツ立(陸上) 動物園東(陸上)	約10.0万m <sup>3</sup>	○陸域から陸域周辺の海域の土砂を回復 ※全部「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による掘削土砂から受入	県河川	
小計②		約10万m <sup>3</sup>			
富田漁港、川南漁港、都農漁港浚渫土砂	ニツ立(海中)	約3.8万m <sup>3</sup>	○陸域周辺の海域土砂の土砂を回復 ※全部漁港・港湾施設の維持管理浚渫土砂から受入 ※一部サンドバイパスとして検討予定	県港湾・漁港	
宮崎港浚渫土砂	住吉(海中)	約1.5万m <sup>3</sup>		県港湾・漁港	
マリーナ浚渫土砂		約1.9万m <sup>3</sup>			
マリーナ浚渫土砂 青島漁港浚渫土砂					
小計③		約7万m <sup>3</sup>			
合 計		約27万m <sup>3</sup>			

黒文字:養浜完了 赤文字:養浜予定・見込み



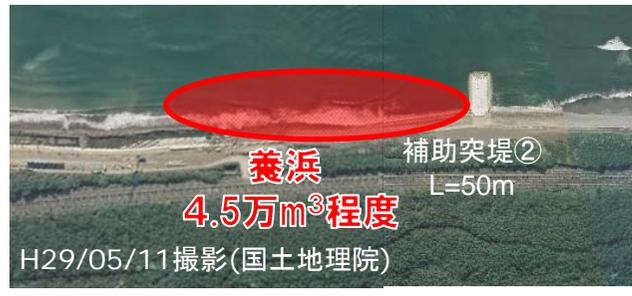
(1) 養浜(突堤周辺の早期の砂浜形成 ~川砂利・川砂などを用いた養浜~) - 3 -

- 目的：コンクリート護岸区間に早期に砂浜を形成させるため、より動きにくい川砂利、川砂などによる養浜を実施
- 場所：補助突堤②の北側に4.5万m<sup>3</sup>程度を予定
- 時期：令和元年7月～令和2年2月(予定)
- 備考：効果を確認しつつ、次年度以降も継続を想定

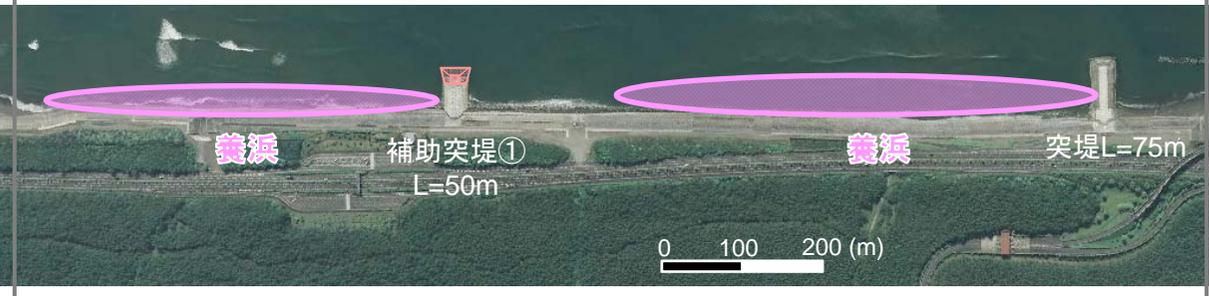
○投入予定の材料



令和元年度に実施予定



令和2年度～3年度に同程度を想定



○投入予定地点

令和元年6月6日撮影 潮位:T.P.-0.95m

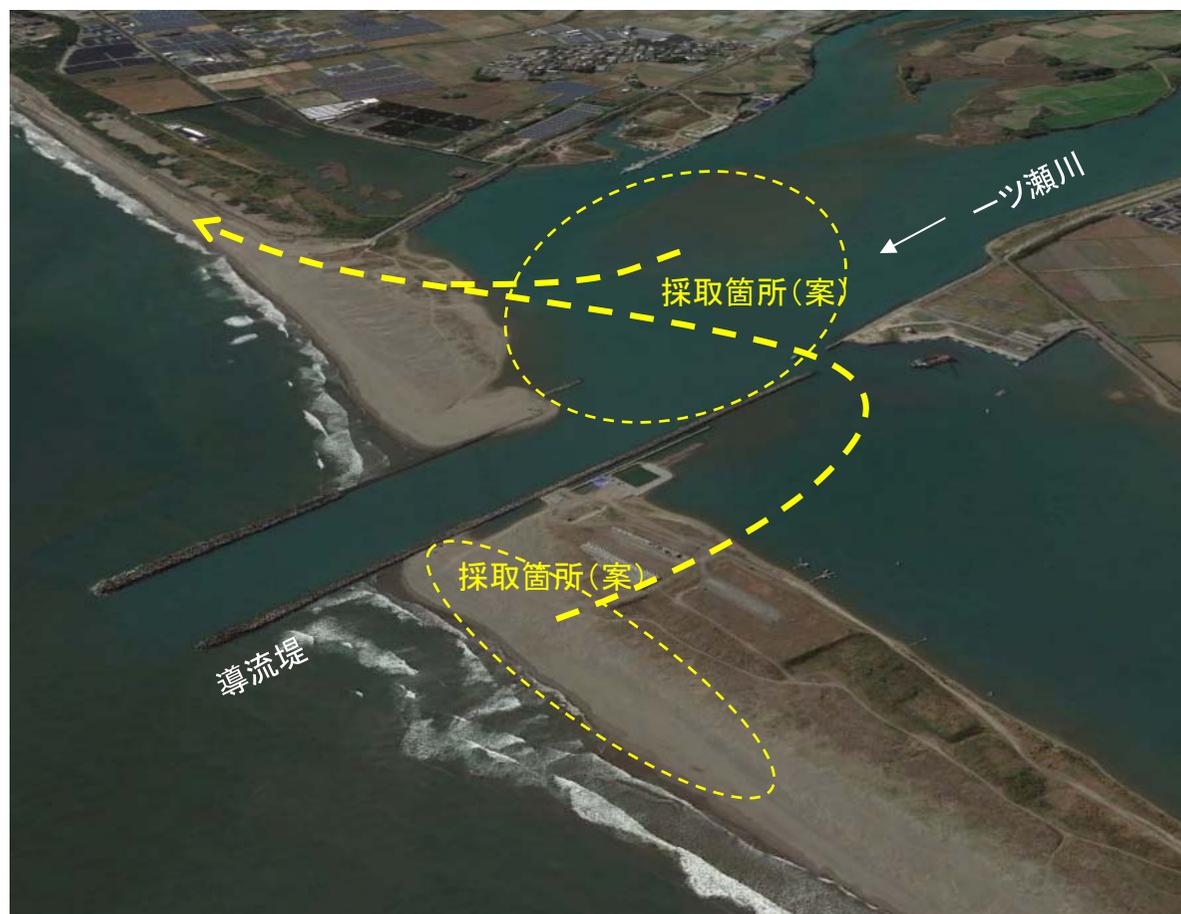


令和元年6月6日撮影 潮位:T.P.-0.95m



## (2) その他工事 一ツ瀬川河口サンドバイパス試験施工

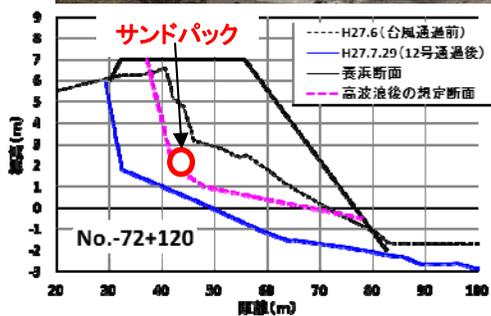
- 目的：総合土砂管理の取り組みの一環として、将来の維持養浜に向けた一ツ瀬川河口周辺でのサンドバイパスの効果および効率的な手法を把握するために試験施工を関係機関と連携して実施
- 場所：一ツ瀬川河口付近で0.5万m<sup>3</sup>程度を予定
- 時期：令和元年12月～令和2年3月(予定)



## (2) その他工事 石崎浜コンクリート護岸北側隣接部の暫定対策(試験施工)

- 5 -

- 目的: 石崎浜コンクリート護岸北端に隣接する  
浜崖後退抑制の暫定対策を実施
- 場所: 石崎浜南端
- 概要: 既設コンクリート護岸の法線沿いに、これまで  
実施してきた養浜に加えて一定規模の波  
浪から浜崖後退を守るサンドバックを設置
- 時期: 台風期明け～令和2年3月(予定)



## 2. 令和元年度以降の全体スケジュール

---

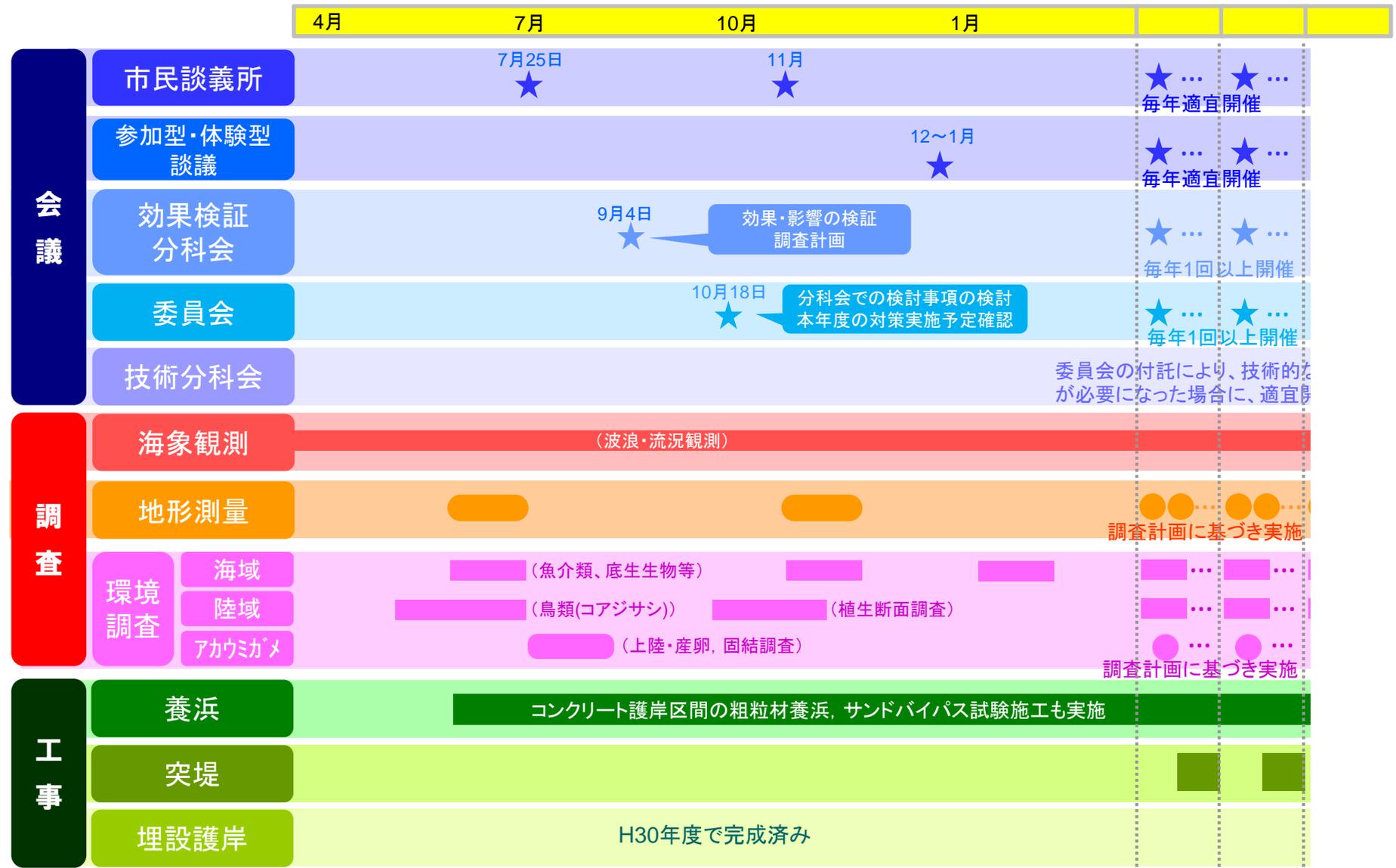
---

# 令和元年度以降の全体スケジュール

※談義所、分科会、委員会の議論に応じ適宜変更の可能性あり

令和元年度(対策実施 8年目)

9年目 10年目  
(R02年度) (R03年度)



### 3. 流砂系一貫の総合土砂管理の取り組み状況

---

---

別紙参照